



# 繊維製品の取扱い絵表示が変わります

多くの衣料・布製品などの内側についている、「取り扱い絵表示」が、2016年12月1日から変わります。これまで、日本国内の取扱い絵表示は、日本工業規格（JIS）という日本独自の規格により定められた表示を使用していました。

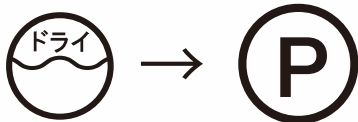
しかし近年、衣類の生産や流通がグローバル化し、海外との取引が一般的になり、「ISO規格へ整合する必要がある」との要望が多くなってきました。

さらに、クリーニング技術の進歩にともない、洗濯機や洗剤が多様化し、従来の規格を変更する必要性が生じて来ました。

このような変化に対応し、より利便性を高めるため、ISO（国際規格）と同じ記号を使うことになったのです。



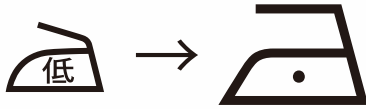
## 代表的な絵表示の変更絵例



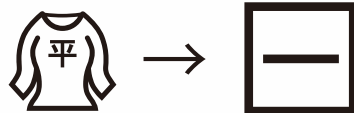
業者ドライクリーニングを示す表示



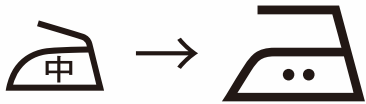
日陰の吊干しの表示



底面の最高温度を示す表示



平干の表示



底面の最高温度を示す表示



吊干しの表示



底面の最高温度を示す表示



手洗いの表示

**JISとは・・・**略称はJISで、昭和26年（1951）に制定された「工業標準化法」に基づいて実施されている日本の鉱工業製品の統一規格をいう。鉱工業品の種類型式、形状、寸法、構造、品質、等級など細部にわたる事項について全国的に統一し、それにより品質改善、生産能率の増進をはかることを目的としている。日本工業規格に合格した鉱工業製品には、JISマークがつけられる。

**ISOとは・・・**国際標準化機構（International Organization for Standardization）の略称で、国際的な標準である国際規格を策定するための非政府組織。スイスのジュネーブに本部を置き、スイス民法による非営利法人である。加盟国メンバーが162の標準化団体から成る、独立した非政府組織である。ISOは、国際標準の世界最大のボランティアな開発組織であり、国家間に共通な標準を提供することによって、世界の貿易を促進している。

詳しくは弊社担当者までお問い合わせいただくか、下記消費者庁のサイトをご覧ください。

▶ <http://www.caa.go.jp/hinpyo/guide/wash.html>